

寺小だより

令和3年度 7月号 NO.5
富田林市立寺池台小学校
校長 阪上佐智子
☎ 0721-29-1477

奇跡の復興米よ、寺小で大きく育て

6月7日に、校内の田んぼで5年生が田植えを行いました。今年の苗は、岩手県大槌町おおづちで2011年東日本大震災後、被災した民家で奇跡的に見つかった稲穂を由来としています。富田林市はおおづち大槌町と10年に渡って交流を持ち、「奇跡の復興米」を富田林市で育て続けていました。今回、JAの方が大切に育てた苗を本校にいただくことができました。

5年生の児童は、震災や復興米のことを学習し田植えに臨みました。田んぼに入るのは初めてという児童が多く、田んぼのやわらかな土の感触を楽しんでいました。そして、大きく育てて欲しいという願いを込めて苗を植えました。「奇跡の復興米」を育てることを通して、米作りの難しさや苦労、当たり前にお米を食べられることのありがたさを学んでいくことでしょう。東日本大震災の発生から10年という節目に当たり、災害について考えることや災害に備えること等、さらに学びを深めていくことを期待しています。

田植え当日は、震災後のボランティア活動に当時参加し、復興米にゆかりの深い吉村善美市長が来校されました。5年生は富田林市の広報や新聞3社の取材も受けました。本校が掲載された新聞記事は校長室前に掲示しています。個人懇談会で来校の折にはご覧ください。

◎四角の中は、子どもたちも読みましょう。



もしも 大きな地しんが 起こったら・・・

科学が進んだ 今の世の中でも、地しんが起きることを 前もって知ることは できません。大きな地しんが とつぜん起こったら、どうしますか？

まずは、自分の 頭 や 体 をまもること、落ち着くことが 大切です。

災害に備えることについて、家の人や友だちと 話し合ってみましょう。